

1.	唾液には、デンプンを分解する消化酵素が含まれ、また、味覚の形成にも重要な役割をもつ。
2.	食道には、消化液の分泌腺があり、食物は分泌された消化液で分解されながら、重力の作用により、食物が胃へと送られる。
3.	大腸の腸内細菌は、血液凝固や骨へのカルシウム定着に必要なビタミンDを産生している。
4.	ヘモグロビンが分解して生じたビリルビンは、肝臓で代謝されるが、肝機能障害や胆管閉塞などを起こすとビリルビンが循環血液中に滞留して、黄疸を生じる。
5.	経口投与後、消化管で吸収されて血液中に移行した有効成分は、全身循環に入る前に、門脈という血管を經由して腎臓を通過する。
6.	脊髄は脊椎の中にあり、脳と末梢の間で刺激を伝えるほか、末梢からの刺激の一部に対して脳を介さずに刺激を返す場合があり、これを脊髄反射と呼ぶ。
7.	コレステロールは、肝臓において産生される。
8.	内服薬の有効成分は、主に胃で吸収される。
9.	胃は中身が空の状態では扁平に縮んでいるが、食道から内容物が送られてくると、その刺激に反応して胃壁の平滑筋が収縮し、容積が広がる。
10.	肝臓は、脂溶性ビタミンであるビタミンAやD等のほか、ビタミンB6やB12等の水溶性ビタミンの貯蔵臓器でもある。
11.	消化管から吸収されたアルコールは、肝臓でアセトアルデヒドに代謝されたのち、そのままの形で腎臓から排泄される。
12.	大腸は、盲腸、虫垂、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸からなる管状の臓器で、内壁粘膜に絨毛がない。
13.	通常、糞便の成分の大半は食物の残渣で、そのほか、はがれ落ちた腸壁上皮細胞の残骸や腸内細菌の死骸が含まれる。
14.	リンパ液の流れは主に骨格筋の収縮によるものであり、流速は血流に比べて緩やかである。
15.	メラニン色素は、皮下組織の最下層にあるメラニン産生細胞で産生され、太陽光に含まれる紫外線から皮膚組織を防護する役割がある。
16.	真皮は、線維芽細胞とその細胞で産生された線維性のタンパク質（コラーゲン、フィブリリン等）からなる結合組織の層で、皮膚の弾力と強さを与えている。
17.	喉頭から肺へ向かう気道が左右の肺へ分岐するまでの部分を気管支といい、そこから肺の中で複数に枝分かれする部分を肺胞という。
18.	静脈にかかる圧力は比較的高いため、血管壁は動脈よりも厚い。
19.	ビタミンAは、腎臓で活性型ビタミンAに転換される。
20.	赤血球は骨髄で産生される。
21.	肛門周囲は、肛門平滑筋で囲まれており、排便を意識的に調節することができる。
22.	男性では、加齢とともに前立腺が萎縮し、排尿困難等を生じることがある。
23.	肛門周囲には、静脈が細かい網目状に通っていて、肛門周囲の組織がうっ血すると痔の原因となる。
24.	筋組織は、グリコーゲンの代謝に伴って生成する乳糖が蓄積すると、筋組織の収縮性が低下する。
25.	小さな子供では、耳管が太く短くて、走行が水平に近いため、鼻腔からウイルスや細菌が侵入し感染が起りやすい。
26.	副腎皮質ホルモンの一つであるアルドステロンは、体内に塩分と水を貯留し、カリウムの排泄を促す作用があり、電解質と水分の排出調節の役割を担っている。
27.	副腎髄質では、自律神経系に作用するアセチルコリンが産生・分泌される。
28.	ボウマン嚢は、腎小体と尿細管とで構成される腎臓の基本的な機能単位である。
29.	間質性肺炎は、気管支又は肺胞が細菌に感染して炎症を生じたものである。
30.	中毒性表皮壊死融解症は皮膚粘膜眼症候群と関連のある病態と考えられており、中毒性表皮壊死融解症の症例の多くが皮膚粘膜眼症候群の進展型とみられる。
31.	リンパ液の流れは、主に平滑筋の収縮によるものであり、流速は血流に比べて緩やかである。
32.	毛細血管の薄い血管壁を通して、二酸化炭素と老廃物が血液中から組織へ運び込まれ、それと交換に酸素と栄養分が組織から血液中へ取り込まれる。
33.	尿は、血液が濾過されて作られるため、糞便とは異なり、健康な状態であれば細菌等の微生物は存在しない。
34.	チュアブル錠は、腸内での溶解を目的として錠剤表面をコーティングしているものであるため、口の中で舐めたり噛み砕いて服用してはならない。

35.	皮膚粘膜眼症候群と中毒性表皮壊死融解症は、原因医薬品の使用開始後1ヶ月以上経ってから発症することが多く、2週間以内に起こることは稀である。
36.	医薬品の副作用によって無菌性髄膜炎が生じることがあるが、早期に原因医薬品の使用を中止すれば、速やかに回復し、予後は比較的良好であることがほとんどである。
37.	偽アルドステロン症は、体から塩分（ナトリウム）と水が失われ、体内にカリウムが貯留することによって生じる病態である。
38.	顆粒剤は、粒の表面がコーティングされているものもあるので、噛み砕かずに水などで飲み込む。
39.	脳において、血液の循環量は心拍出量の約15%、ブドウ糖の消費量は全身の約25%と多いが、酸素の消費量は全身の約5%と少ない。
40.	脾臓の主な働きは、脾臓内を流れる血液から古くなった赤血球を濾し取って処理することである。
41.	目の充血は、血管が拡張して赤く見える状態であるが、強膜が充血したときは、白目の部分がピンク味を帯び、眼瞼の裏側も赤くなる。
42.	坐剤の有効成分は、直腸内壁の粘膜から吸収され、容易に循環血液中に入り、初めに肝臓で代謝を受けてから全身に分布する。
43.	血中濃度は、ある時点でピーク（最高血中濃度）に達し、その後は低下していくが、これは代謝・排泄の速度が吸収・分布の速度を上回るためである。
44.	鼻腔から気管支までの呼気及び吸気の通り道を気道といい、そのうち、咽頭・喉頭までの部分を上気道、気管から気管支、肺までの部分を下気道という。
45.	涙液は、起きている間は絶えず分泌されており、目頭の内側にある小さな孔（涙点）から涙道に流れこんでいる。
46.	うっ血性心不全とは、心筋の自動性や興奮伝導の異常が原因で心臓の拍動リズムが乱れる病態である。
47.	汗腺には、腋窩（わきのした）などの毛根部に分布するアポクリン腺（体臭腺）と、手のひらなど毛根がないところも含め全身に分布するエクリン腺の二種類がある。
48.	外耳は、聴覚器官である蝸牛と、平衡器官である前庭の2つの部分からなる。
49.	黄疸とは、グロブリンが胆汁中へ排出されず、血液中に滞留することにより生じる、皮膚や白眼が黄色くなる病態である。
50.	合併症を起こさない限り、喘息の原因となった医薬品の有効成分が体内から消失すれば、症状は寛解する。

2章 ○×-5 こたえ

番号	解答	解説 (×のみ)
1	○	
2	×	食道には消化液の分泌腺は「ない」。嚥下された飲食物は、「重力によって胃に落ち込むのではなく、食道の運動によって」胃に送られる。
3	×	ビタミンDではなく、「ビタミンK」
4	○	
5	×	腎臓ではなく、「肝臓」
6	○	
7	○	
8	×	胃ではなく、「小腸」
9	×	平滑筋が「収縮」ではなく、平滑筋が「弛緩」
10	○	
11	×	アルコールは、肝臓で一度アセトアルデヒドに代謝されたのち、「酢酸」となり排泄される。
12	○	
13	×	通常、糞便の成分の大半は「水分」で、そのほか、はがれ落ちた腸壁上皮細胞の残骸や腸内細菌の死骸が含まれ、「食物の残滓は約5%」に過ぎない。
14	○	
15	×	「皮下組織」の最下層ではなく、「表皮」の最下層
16	○	
17	×	喉頭から肺へ向かう気道が左右の肺へ分岐するまでの部分を「気管」といい、そこから肺の中で複数に枝分かれする部分を「気管支」という。
18	×	静脈にかかる圧力は比較的「低い」ため、血管壁は動脈よりも「薄い」。
19	×	ビタミンAではなく、「ビタミンD」
20	○	
21	×	肛門平滑筋ではなく、「肛門括約筋」
22	×	委縮ではなく、「肥大」
23	○	
24	×	乳頭ではなく、「乳酸」
25	○	
26	○	
27	×	アセチルコリンではなく、「アドレナリン (エピネフリン) とノルアドレナリン (ノルエピネフリン)」
28	×	Bowman囊ではなく、「ネフロン」。 Bowman囊は糸球体の外側を包み込んでいる袋の部分。
29	×	問題文は「通常の肺炎」の内容。間質性肺炎は、肺の中で肺胞と毛細血管を取り囲んで支持している組織（間質）が炎症を起こしたもの。
30	○	
31	×	平滑筋ではなく、「骨格筋」
32	×	毛細血管の薄い血管壁を通して、「酸素と栄養分」が血液中から組織へ運び込まれ、それと交換に「二酸化炭素と老廃物」が組織から血液中へ取り込まれる。
33	○	
34	×	チュアブル錠は、口の中で「舐めたり噛み砕いたりして」服用する剤形であり、水なしでも服用できる。
35	×	原因医薬品の使用開始後「2週間以内に発症することが多い」が、1ヶ月以上経ってから起こることもある。
36	○	
37	×	体から「カリウム」が失われ、体内に「塩分 (ナトリウム) と水」が貯留する
38	○	
39	×	酸素の消費量は約5%ではなく、「約20%」。
40	○	
41	×	強膜が充血は、白目の部分のみピンク味を帯び、眼瞼の裏側は「赤くならない」。
42	×	坐剤は、肝臓で代謝を「受けることなく」全身に分布する。
43	○	
44	○	

45	○	
46	×	うっ血性心不全ではなく、「不整脈」の内容。うっ血性心不全は、全身が必要とする量の血液を心臓から送り出すことができなくなり、肺に血液が貯留して、種々の症状を示す疾患。
47	○	
48	×	外耳ではなく、「内耳」
49	×	グロブリンではなく、「ビリルビン」
50	○	